

あいち・なごやオープントップバス実行委員会 令和8年度事業計画

本事業は、愛知・名古屋2026アジア・アジアパラ競技大会（以下、競技大会）期間中、名古屋市内におけるナイトタイム観光の活性化を図るため、インバウンドやバリアフリーにも配慮したオープントップバスの運行および情報発信による誘客・周遊促進を通じて、観光振興と地域活性化に資することを目的とする。

1 バス運行事業

(1) コースの基本設定と魅力の創出

①景観整備による魅力の創出（ライトアップの連携）

・既存ライトアップ資源の活用

中部電力 MIRAI TOWER（テレビ塔）、名古屋城、名古屋駅周辺のビル群など、既にライトアップされている主要ランドマークをコースに組み込み、景観のハイライトとする。

②車内提供コンテンツの企画

・専門ガイドによる車内解説および多言語対応

コース上の観光スポットや歴史的建造物、ライトアップ施設に関して、専門ガイドによる詳細な車内解説を行うとともに、インバウンド対応として多言語音声ガイドシステムを導入する。また、バリアフリーにも配慮した案内体制を整備することで、多様なニーズに応える車内環境を提供する。

(2) 運行スケジュール

競技大会期間に合わせ、実施する。また、事業の開始を関係者および地域等へ広く一般的に周知することを目的として、出発式を実施する。

2 販売・プロモーション事業

競技大会の開催期間に、大会来訪者及び国内外の観光客に対して、効果的かつ多角的な販売チャンネルとプロモーションを展開する。

(1) 販売体制の確立

インバウンドを含めた需要を最大限に取り込むための販売体制を以下の通り確立する。

①販売開始時期の確定

予約受付は、大会期間への関心の高まりを見越し、早期に開始する。

②料金設定

オープントップバスの付加価値と限定的な運行期間を考慮し、インバウンド向け価格等、体験者の属性によって設定料金を変動することを検討する。

③販売サイト

国内外の幅広い観光客への利便性の向上を目指し、複数言語対応のオンライン予約システムを活用した販売体制を構築する。

④オンライン旅行代理店（OTA）への掲載

国内外の幅広い観光客へのリーチを確保するため、オンライン旅行代理店（OTA）への掲載を積極的に行う。特に、夜間観光需要の取り込み及びインバウンド誘致の観点から、海外OTAへの掲載を重点的に進める。

（2）WEBによる情報発信

ソーシャルメディア（Instagram、Facebookなど）を活用し、ターゲット層に合わせた発信を行う。

（3）宣伝物制作

実際に来訪した顧客や大会関係者に対して、直接的な情報提供を行うため、以下の宣伝物を制作し、多角的な広報活動を補完する。

①チラシ・ポスターの制作

オープントップバスの魅力を前面に押し出したデザインとする。配布場所は、名古屋駅・栄周辺の主要ホテル、大会関連イベント会場、名古屋鉄道主要駅を重点とする。

②車内配布物

乗車特典として、運行コースマップ等を作成し、提携店舗等の割引券などを配布することで、経済波及効果最大化を図る。

③ノベルティ製作

乗車記念品として、大会来訪者やインバウンドを意識したノベルティグッズを製作することで、乗車後のSNS等での拡散を促し、プロモーション効果の持続を図る。

④車体ラッピングの実施

オープントップバス自体を「走る広告塔」として最大限活用するためにラッ

ピングを施す。

3 安全管理・危機管理・運営体制

(1) 運行に関する安全管理体制

①車両および設備の管理

強風、大雨、落雷などの悪天候時には、運行を一時的に見合わせる、または屋根付き車両への切り替えを行うなど、明確な運行可否判断基準を策定し、乗客の安全を最優先とする。

②乗務員・乗客への安全指導

乗務員に対し、オープントップバス特有の車高を考慮したルート上の障害物回避訓練、急ブレーキ時の乗客への影響を最小限にするための運転技術訓練を実施する。乗客に対しては、乗車時に、立ち上がり禁止、頭上注意（特に樹木や標識）、悪天候時の対応について、日本語および多言語によるアナウンスを用いて周知を徹底する。

③バリアフリーへの配慮

障がい者等配慮が必要な方へのサービス提供について、可能な限り対応を行う。

(2) 危機管理と緊急時対応

事故・災害発生時の対応として、実行委員会事務局、運行事業者、警察、消防、病院との緊急連絡網を事前に整備し、事故発生時に迅速な情報共有と連携が図れる体制とする。

(3) 運営・人材体制の確立

運行期間中のサービス品質と安全性を担保するため、乗務員以外の係員体制および研修計画を以下の通り確立する。

①係員手配と人員計画

乗降時の案内、チケット確認、安全確認、車内での観光情報提供を担う係員を配置し手配する。

②研修の実施

係員および乗務員に対し、運行ルートや安全手順の徹底、悪天候時の対応を含むオペレーション計画研修を実施する。特に乗務員については、実車を使用した試走・研修を運行開始前までに完了させる。

4 その他

本事業を推進するにあたり、地域経済の活性化と循環型観光の実現のために、地域事業者との連携を働きかける。

以上